

# 神戸医療生協支援ニュース

2011年5月 13日 第23号

## 第3回目 報告集会は、40名の参加

第3回目の報告集会は、①4月11日出発 ②4月15日出発 ③5月2日出発 の3グループからの報告でした。医療支援から生活支援へのニーズの移り変わりが報告の中でも出されました。支援活動に参加した職員の共通の想いは「継続支援の必要性」であり、それを連休グループの報告でも強調されました。

今後の支援活動の方向性については、「支援活動参加者のつどい」を開催し、震災翌日から5月の支援活動に参加した職員が集まり、今後の支援活動の在り方についてのディスカッションを行う予定です。



## みやぎ県南 支援ニュースから

### 森さんのレポート



5月8日から、みやぎ県南地域への現地事務局として支援活動に参加している森さんからのレポートの一部抜粋です。

「医療生協がこんなことしてくれるなんて！」

被災組合員の驚き

午前中、西垣さん（たじま）は被災した組合員への電話かけ。7日に米など支援物資を届けてまわった時に留守だった組合員からは「医療生協がこんな事までしてくれるなんて、本当にありがたい」と驚きとお礼の言葉が語られました。

午後には、昨日訪問した花釜区の組合員ら三家族が医療生協槻木事務所で入浴し、支援物資の衣類を持ち帰られました。「ずっと同じものを着たままだったが、着替えることができてすっきりした」と喜んでおられました。

### 支援のありかたは四つに分類が必要

10日夜のセンター打ち合わせ（西垣・黒田・森）では、今後は四つの分類での被災者支援が必要であることが確認されました。

- 1) 避難所
- 2) 国道6号線から西の坂元地区など、避難指示区域とならなかった浸水地域
- 3) 避難指示区域となっていた地域
- 4) 仮設住宅

当面、週末を中心とした近畿ブロックの医療生協からの支援活動では②と③の地域を重視した取り組みを予定しています。今週末の尼崎医療生協からの支援チームは坂元地区での泥だしを中心とした活動、来週末の神戸医療生協からの支援チームは避難指示区域となっていた花釜区での聞き取りや支援物資の配布、泥だしなどの生活支援活動を計画しています。

**5月21日からの支援行動は、近畿の各生協から問い合わせがあります。参加希望者は出来るだけ早く事務局へ連絡お願い致します**